



民間社会福祉施設職員退職手当共済事業 運営委員会レポート

2025年1月21日
第27号

“[発行] 高知県社会福祉協議会 民間社会福祉施設職員退職手当共済事業運営委員会”

“[WEBサイト]<https://www.kochiken-shakyo.or.jp/taisuyokuteate>”

令和6年度第2回運営委員会を開催しました

日時 : 令和6年12月11日(水)10:30~11:55

場所 : 県立ふくし交流プラザ 5階研修室A

出席委員(10名)

伊野部 武男(委員長) 田ノ内 学 濱田 明 松岡 寛 北添 百合
山口 廣志 泉 真樹 西野 美香 植田 淳 井上 達男

担当理事 楠目 隆

下記の事項に関する審議等が行われました。

1 報告事項

(1) 令和6年度上半期(4~9月)の資産運用実績報告

- ① 三菱UFJ信託銀行(資産70%運用)の報告
- ② 三井住友信託銀行(資産30%運用)の報告
- ③ 植田委員(神戸市外国語大学名誉教授)の講評

(2) 財政再計算の結果について

(3) 年金ALM分析の結果について

- ① 三菱UFJ信託銀行の報告
- ② 資産運用小委員会(3回)の検討結果の報告

2 審議事項

・掛金率並びに政策アセットミックス及び「退職積立資産の運用に関する基本方針」に定める資産構成割合について

1 報告事項

(1) 令和6年度上半期資産運用実績報告

9月末の収益率は三菱UFJ信託銀行、三井住友信託銀行ともにベンチマークを下回る結果となりました。植田委員から「10月には少し持ち直したが、がっかりするような結果。不安定な情勢だが、年度末までにはしばらく時間があるので、回復していただければよい。年金運用は10年20年30年先をにらんだ運用となるため、一喜一憂しすぎず、中長期的な視点で見たい。」と講評がありました。

時間加重収益率(4月~9月): 三菱UFJ信託銀行 -0.86%、三井住友信託銀行 -0.81%

※ベンチマーク(4月~9月): -0.62%

(2) 財政再計算の結果報告

今年度は、共済事業の財政の健全化と掛金の適正化を図るため3年に1回行っている「財政再計算」の年でした。再計算を行った幹事行である三菱UFJ信託銀行からは、「昇給率が1.5%⇒1.1%と少し下がってきているが、資産(掛金収入)が減ると負債(退職金給付)も減るので、現行の3.2%で剰余金も充分にあり、現状維持で問題ない。」との報告がありました。

(3) 年金ALM分析の結果報告

今年度は年金ALM分析の実施に伴い資産運用小委員会を3回(7月、9月、11月)開催しました。

【年金ALM分析の結果】

(前提) 今後10年間について: 加入者規模は一定、掛金率は現在と同率、期待収益率は2.0%以上とするなど

➡ 現状のアセットミックスで期待収益率(リターン)は2.2%あり、リスクとの兼ね合いを見ても現状維持することで問題ありません。(三菱UFJ信託銀行)

➡ 同じリスク・リターンで国内債券の割合を少し低い割合(国内債券58%、国内株式8%、外国債券20%、外国株式12%、短期資産2%)にすることもできるが、長期で見るとリスクもリターンも同じであれば現状維持(国内債券61%、国内株式11%、外国債券15%、外国株式11%、短期資産2%)としてはどうか。(小委員会の結論)

2 審議事項

掛金率並びに政策アセットミックス及び「退職積立資産の運用に関する基本方針」に定める資産構成割合について

◆掛金率について

共済事業の財政の健全化と掛金の適正化を図るため、3年に1回行う財政再計算の結果について、三菱UFJ信託銀行から報告があり、現行の退職共済掛金率を見直すかどうか審議されました。

【結果】

「昇給率が1.5%⇒1.1%と少し下がってきているが、資産(掛金収入)が減ると負債(退職金給付)も減るので、現行の3.2%で剰余金も充分にあり、現状維持で問題ない。」との報告があったことから、「掛金率は現状維持とする」こととなりました。

◆政策アセットミックス及び「退職積立資産の運用に関する基本方針」に定める資産構成割合について

今年度実施したALM分析(退職給付制度の年金資産及び負債の将来予測)の結果をもとに、現在の政策アセットミックス及び資産構成割合を見直すかどうか審議されました。

【結果】 三菱UFJ信託銀行の見解および資産運用小委員会の結論を参考に、「現行の政策アセットミックス及び資産構成割合を維持する」こととなりました。

○政策アセットミックス

現行

(単位: %)

資産分類	資産構成割合 (時価基準)
国内債券	61
国内株式	11
外貨建債券	15
外貨建株式	11
その他資産	2
合計	100

ただし、上下10%以内の乖離幅を認める。

【用語解説】

※財政再計算とは…

掛金率は計算基礎率を前提に算定したものです。計算上の前提となった各種見込みが妥当なものであるかを一定期間経過する毎に検証し、計算基礎率の見直し、および新しい計算基礎率に基づいた掛金率の再算定を行うことを「財政再計算」といいます。

時間が経過すると、基礎率と実態が乖離してくるので、定期的(3年ごと)に見直しを行っています。

※年金ALM分析とは…

長期の資産配分計画(=政策アセットミックス)を検討するため、将来の資産と負債の動向を予測・分析するツール。具体的には前提条件を設定して、制度内容や加入者の変化を織り込みながら、年金資産と負債の将来予測を実施し、政策アセットミックスを検討します。

前回年金ALM分析は平成27年度に実施しました。シミュレーション期間は10年です。

運営委員会レポート 第27号 令和7年1月21日発行

社会福祉法人高知県社会福祉協議会 民間社会福祉施設職員退職手当共済事業運営委員会事務局
〒780-8567 高知市朝倉戊375-1 高知県立ふくし交流プラザ4F
総務企画課内 TEL: 088-844-4865 FAX: 088-844-3852